

(2) 主な意見の把握 (アンケートで得られた自由回答意見)

アンケートの主な自由回答意見 (※新湾岸道路プロジェクトに寄せられたご回答とご意見の一部を記載)	
問1) 湾岸地域において解決すべき課題についてお聞かせください	
交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・国道357号および交差する道路の慢性的な渋滞 (特に船橋市内、次いで千葉市内) がいつまで経っても解消しない ・湾岸地域に重要産業、港湾、レジャー施設、大型商業施設が混在し、そのアクセスとして常に湾岸道路が渋滞している ・市原から千葉市役所付近までは今でも (特に平日午前中) 渋滞が酷く、迂回ルートもほとんどないので困る ・千葉駅付近からの高速道路のアクセスが悪く、東京方面、市原方面のどちらに向かおうとしても必ず国道357号と穴川付近の渋滞に巻き込まれてロスが多い ・国道357号線の蘇我から市原方面にかけての渋滞がひどく、特に市原埠頭に向かう右折レーンの渋滞がひどい。 ・幕張メッセを中心とした施設においてイベント等が開催される期間は、周辺道路が大変混雑し、自動車等で来場する方の利便性が著しく損なわれている ・国道14号と国道296号は、道路の容量と、実際の交通量が見合っておらず、いつも渋滞に巻き込まれるので、解決してほしい課題だと考える ・湾岸地域の旅行速度が極めて低い状況を放置すること ・空港移動の際バスを利用するが、渋滞のため時間が読めないで利用を躊躇する
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・事故も多発しているので、少しでも減ってほしい ・交通事故や災害などの際に迂回出来るルートがない又は市街地になり大型車など迂回が困難 (例:国道16号市原市内陥没事故)
医療 (救急搬送など)	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車や災害時等の緊急時に渋滞に巻き込まれてしまうと人命にも影響を及ぼす可能性があります ・人口密度が高く高齢者が多い割に大きな病院が近隣に少ない
防災 (道路ネットワークの多重化)	<ul style="list-style-type: none"> ・来たるべき大災害に対応した避難経路であり津波高潮対応の防災機能を持つ社会資本の整備 ・船橋中央ふ頭は新港大橋 1 本でつながっているため、大規模地震の発生が近く想定される中、リダンダンシー確保の観点から、新湾岸道路との接続は必須 ・電車も道路も代替手段がなく、災害時に陸の孤島になること
物流の 円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ・物流業の車と一般車両が常に混在している ・工業地帯・港湾施設・空港での貨物輸送、生活用途などが多重化しているため、それらが分散できるような道路づくりをしてほしい
港湾・空港 へのアクセ シビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉港からの最寄りのインター (京葉道路・穴川インター) まで約8kmと遠く、全国でも類を見ない ・港湾地域 (千葉中央港) へのアクセスは、すこぶる悪く、高速道路が近くになく、ICも遠い場所にある ・千葉からの羽田空港、都内からの成田空港への主要経路であるため安定した渋滞防止策が必要
生活環境 (抜け道利用な ど)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞を避けるために道幅の狭い生活道路を抜け道として利用する人が多く、事故発生リスクを強く感じます ・金土日、メッセ付近でイベントがあった日の渋滞をさけるため生活道路へ逃げる他県ナンバーの危険な走行がみられる ・湾岸地域の渋滞を回避するために、学校の周りの道路を抜け道として利用する自動車も少なくない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉・埼玉は道が狭い」と言われ続けて半世紀以上が経つが、成田・京葉工業地域～東京間に位置し需要が旺盛な当該地域は、今もなお、道路インフラが貧弱 ・国道357号など当該地域には十分な自転車走行環境が確保されておらず、自動車に依存せざるを得ない状況となっていることも課題 ・欧州での自動車ファーストから自転車や徒歩優先への切り替えが進んでいると思いますが、この狭い日本でもその方向への切り替えの検討をすべき ・人口が減少する中で、AIも進展、自動運転等も普及する中で、巨額の公共事業を行う必要は全くない ・今後の人口減少が想定される中で、未来に向けて自然環境の保全の方が、子世代・孫世代の財産として価値が大きい ・きれいな海、夕日等、海岸部特有のロケーションがあるが、駐車場(無料)があまりなく、工場だらけでうまく利用されていない

(2) 主な意見の把握 (アンケートで得られた自由回答意見)

アンケートの主な自由回答意見 (※新湾岸道路プロジェクトに寄せられたご回答とご意見の一部を記載)	
問2) 新湾岸道路に期待することについてお聞かせください	
交通渋滞の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市中心部から東京方面へのアクセス向上、時間短縮。千葉西警察署付近の14号-357号渋滞の解消 ・船橋がボトルネックになり恒常的に発生している渋滞、その他14号、16号、357号各所で発生している渋滞の解消 ・新湾岸道路の開通により、市原市付近から東京方面へ向かう新しい選択肢が生まれ渋滞が緩和することを期待 ・商業施設、イベント会場などが多く週末や連休などの交通渋滞の解消
交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・新湾岸道路が新設されることにより、交通流が分散し、現在既存のR357号等の渋滞の緩和、事故の減少を期待する ・事故などやインフラ更新の工事の際も前提とするバックアップの確保しておくこと
救急医療施設への円滑な輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・帝京大学ちば医療センターが姉崎エリアより移転する方針もあり、救急医療での搬送先への移送にも効果を期待します ・救急搬送では、高度な治療が期待できる千葉県総合救急災害医療センター（3次医療機関）への搬送時間の短縮が大いに予想できる
災害時に使用できる道路ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年10月の大雨により国道16号の市原-蘇我間の陥没事故が発生し改めて東京湾岸(京葉工業地帯)の代替道路がないことの危険性を認識 ・大規模災害(例えば南海トラフなど)時の避難経路、復旧支援のための交通網 ・千葉港における耐震強化岸壁等の整備が進み、近い将来首都直下型地震や南海トラフ巨大地震の発災確立が高く大規模被害が想定される中千葉港が緊急物資輸送基地としての機能を十分発揮させるには、交通網の整備にかかっている
産業・観光拠点へのアクセス性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉駅周辺からの高速道路アクセスの改善 ・首都圏からのアクセスが高まることによる房総半島南部の活性化と、災害対策としての道路の役割に期待しています。 ・高速道路は災害の他、事故、故障車の渋滞や通行止の影響を受けることが多く、迂回路を複数確保することが輸送の信頼につながります。 ・幕張メッセを中心とした各施設におけるイベント等開催時に、これまでの来場ルートに加えて、新湾岸道路を活用した来場ルートがあることは、来場者の選択肢を増やし利便性が向上するものと期待 ・都内からの飛躍的なアクセス向上によって地域発展が期待される。 ・地域の交通渋滞を抜本的に解消し、効率的な都市間移動を実現することを期待
港湾・空港へのアクセス性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各産業・観光・空港拠点へのアクセス向上も期待できる ・千葉港へ直結してインターチェンジを設置していただきたい。(横浜港、川崎港、東京港は直結しており利便性で他港より劣っている)
生活環境の改善 (抜け道利用等の軽減など)	<ul style="list-style-type: none"> ・抜け道利用の減少等による生活環境の改善を期待 ・船橋、行徳、浦安近辺の渋滞緩和と蘇我-船橋間の居住環境改善 ・本校の目の前の道路は、幹線道路の渋滞を避けた車が多く、特に朝の登校時刻に交通量が増え、安全対策が不可欠です
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転への事前対応や自転車動きやすく事故が起きにくい道路整備 ・千葉の湾岸部のシンボルとなる様な構造物として欲しい ・未来志向のインフラとして、全線で完全自動運転に対応する技術基盤を整備することで、安全性と利便性を大幅に向上させてほしい ・自動車専用道路の整備に加え、平行する自転車道の整備にも期待します。 ・美浜から舞浜の立体交差が完成すれば渋滞は解消するので新湾岸道路は不要。無駄な二重投資はやめるべき ・湾岸地区は道路はスカスカで設置は税金の無駄。渋滞して細い道しかない内陸側の複線化やバイパス線がむしろ必要 ・埼玉県で発生した道路陥没のような重大事故の発生を防止するためにも、新道路建設より既存道路の改修に税金を投入すべき

(2) 主な意見の把握 (アンケートで得られた自由回答意見)

	<p style="text-align: center;">アンケートの主な自由意見 (※新湾岸道路プロジェクトに寄せられたご回答とご意見の一部を記載)</p> <p style="text-align: center;">問3) 新湾岸道路について配慮すべきことをお聞かせください</p>
<p>豊かな自然環境 (三番瀬等)の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上自然破壊が進まないように、是非残された三番瀬を残してほしい ・三番瀬から稲毛海岸に至る自然環境は保全して欲しい。市民の憩いの場所であるとともに観光資源でもある ・三番瀬にはカムチャッカやオーストラリアから鳥類が飛来しており、三番瀬の保全は、県内や国内にとどまらず国際的な規模の課題である ・三番瀬は地球を南北に移動する渡り鳥たちにとって、世界的に貴重な地点であり、バードウォッチャーたちの聖地でもある ・ラムサール条約登録地である谷津干潟は水鳥等たくさんの生き物たちが生息し、渡り鳥の中継地とし重要な場所 ・自然環境の保全の中に、鳥たちの環境についても加えて考慮してくれると嬉しい ・自然環境への影響については、事業の中止も選択肢として含めた上で十分に検討すること ・水が綺麗で、色々な魚が泳いでいる。水鳥も多く自然の素晴らしさは貴重である ・船橋はアサリが採れるが潮干狩りがなくなってしまうことを心配
<p>海への眺望景観 の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海への眺望景観への配慮は最大限に努めて欲しい ・三番瀬海浜公園、茜浜緑道は富士見百景に登録され、県民、国民の自然の財産であり、大切にしてもらいたい ・稲毛や幕張・千葉みなとなどは景観・眺望も千葉の魅力の一つであるため、その魅力をつぶすようなことはしないように期待 ・千葉県は「海に面している」というのが一つのブランド価値となっていることから、海への眺望景観の保全 ・海の見える眺望が物件の価値の大きな要素であるため、眺望の阻害による資産価値の低下を懸念 ・景観を道路が邪魔するような資料になっているが、海ほたるのように、道路から海を楽しむという考えもある ・道路の休憩施設から海を楽しみ、一緒に感じられる施設が設置されると嬉しい ・眺望景観は新たな道路をイルミネーション等で、新景観とすれば良い
<p>生活環境の保全 (騒音・振動など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に関する騒音や環境への配慮もしっかり対処してほしい ・住民環境への配慮、及び海と住宅地がシームレスに繋がる貴重な環境への配慮 ・海浜大通りは、ランニングや自転車、散歩など、風景や環境を楽しんでいる人が多い ・ちば港や稲毛の浜に特に新しい施設は望まないが、散歩、サイクリングやウインドサーフィン等を安全で楽しめる地区としてキープして欲しい ・眺望・景観の保全だけでなく千葉市の場合、現在の海岸へのアクセスが保全されること ・海の自然は子供を遊ばせるのにもよい。環境で今のままを守ってくれるとよいと思う。より便利になると行きやすくなるとうれしい ・新規道路建設を検討する場合は、該当地域の住民の生活環境を悪化（騒音・大気汚染等）させないように十分に留意して欲しい
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を予想し新しいモビリティに対応できるようにしておく ・船橋市潮見町へのアクセスには橋梁が1本しかないため震災の際に影響が出ている 市営プールなどもあり季節柄多くの子供でにぎわうことから、今後は安全・安心のために複数の橋梁が必要ではないか ・新しい道を作るのも良いが、もっと周辺住民の安全性を考えて歩道や自転車道の整備をして欲しい ・災害時でも緊急車両が通行できるような配慮が必要 ・騒音を抑えられる道路、防護壁、また眺望など様々な検討・工夫が必要であり、何より自然と地域と利用者が共存共栄できること ・高架にするならば斜張橋などシンボリックな構造を取り入れて、どうせ景観を阻害するので写真を撮りたくなるようにしてほしい

(2) 主な意見の把握 (アンケートで得られた自由回答意見)

アンケートの主な意見 (※新湾岸道路プロジェクトに寄せられたご回答とご意見の一部を記載)

問4) その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや道路の付加機能、新湾岸道路の計画検討の進め方などについてご自由にお書きください

<利用しやすい道路となるためのアイデアや道路の付加機能>

- ・海岸線や住宅に配慮し、思わず訪れたくなるようなデザイン性、照明の重視、海上道路としての実現による、新たな付加価値の創造
- ・今後数年～十数年で大きく進むと予想される道路交通の電動化、自動化を見据えた設計、構造にしてほしい
- ・周辺にある港湾施設や市場などと高速道路の一体整備をしてほしい
- ・千葉港の港湾機能を強化できる施策
- ・気持ちよくドライブできる道路で、かつ災害に強い道路にして欲しい
- ・付近に大規模PAがないので、長距離ドライバー向けの休憩できる場所をどこかに設けて欲しい
- ・湾岸線なので、海の眺望を利用した休憩スポット(PA・SA・道の駅など)をお願いしたい
- ・西湘バイパスのように、海岸線の景色を楽しめる道路を期待しています
- ・京葉工業地帯の観光資産である、工場夜景が見られるような工夫があると良い
- ・横浜に横浜ベイブリッジ、東京にレインボーブリッジがあるように千葉にもランドマークとなるような橋があれば地域の観光資源、活性化につながる
- ・全線を3車線、120km走行が可能な高規格道路にしてほしい
- ・高速道路内の物流車両の渋滞を緩和する策として登坂車線の様な“物流車両優先車線”の設定を提案したい
- ・自動運転や2両連結トラックの運行車線ができるなど物流の人員不足の改善、物流の効率化、人身事故の防止が図られるような道路になるといい
- ・“平日は特に物流トラックによる混雑で生産性が低下”しているように感じるため、自動物流道路を早く整備する必要がある
- ・将来的な自動運転車の広まりに備えて完成6車線規格が望ましい
- ・ノルウェーにあるような高速道路に沿った快適な自転車道を整備してください
- ・洪水対策のために、陛下がマレーシアで視察された貯水機能付きの地下トンネル式にしてはどうか

<計画検討の進め方>

- ・地元住民との意見交換会を頻繁に行い、出来る限り住民の声を反映した新道路にしてほしい
- ・地域住民への丁寧な説明をお願いしたい
- ・環境問題や住環境、或いは災害対策の課題と併せて、大規模な新規道路建設が将来にわたり本当に必要とされるのか
- ・市民の意見や疑問、要望についてはひとつひとつ丁寧に精査し、計画 (あるいは計画中止決定) に反映させること
また精査や検討のプロセスをその都度開示すること

<その他>

- ・住民合意も大切であるが、スピード感を持って進めてほしい
- ・湾岸地域は大規模な商業施設が多数あるため、人と車の分離、自転車道路の確保、信号機の工夫 (刷新) を国 (関連省庁) や市町村と連携してトータル的に何がベストか考えていただきたい
- ・今後人口減少と高齢社会に伴い新車登録台数がどんどん減り交通渋滞も無くなり湾岸地域に新たな高速道路は不要
- ・出来る限り早く実現するために、土地の収用が少なくなるルートを選定してほしい
- ・有料道路による整備・補修が行われやすく、いつでも安心して使える道路にしてほしい